



エロと教育の狭間を目指して…

エイズ対策のキーパーソンたち

ジェクス株式会社
開発マーケティング本部 企画部部長
井上 貴光さん

日本で初めてゼリー付きコンドームを販売、来年創業60周年を迎える
コンドーム会社ジェクスの井上貴光さんに突撃インタビュー！

「人生を通じて愛を育むメーカー」という感じでしょうか。
M:なるほど、コンドームと乳幼児商品はつながっているんですね。素朴な質問なのですが、ゼリーとローション、何か違いってあるのですか？
井上: 私どもの会社では肌と肌で使うものをローション、粘膜に使うものをゼリーと定義しています。実を言いますと、粘膜に触れるアイテムを作るのは非常にハードルが高いんです。粘膜に対して刺激のある成分は使用する事はできません。そのあ

MASH大阪(以下M)…コンドームやローションといったセクシュアルヘルスに関するものから、乳幼児ケア、口腔ケアと幅広く商品展開をされていますが、そもそも始まりは？
井上: 医療機器メーカーとしてゼリー付きコンドームを日本で初めて販売したのが始まりです。その後、コンドームに付随する形でローションやゼリーといったセクシュアル系の商品を開発しながら、新しい市場として乳幼児商品を手掛けるようになり、現在のシェア率は半分半分というところでしょうか。
M: セクシュアル商品と乳幼児商品、なんとなく真反対なような気もするのですが…
井上: 一見真反対のように見えますが、セックスの延長線上に乳幼児商品が存在します。「あのコンドームの会社が作っているのなら」と手に取って下さるご夫婦も多くいらっしゃいます。

M: 昨年扇町公園で開催されたレインボーフェスタではブースも出展されていましたね。
井上: ゲイの方に人気の『8986』の試供品や、テレビでも取り上げられたマウスウォッシュを配布させて頂きました。以前は他のコンドーム会社さんも出展されていたのですが、昨年は当社だけになってしまいました。以前『8986』をMASH大阪さんと開発した時もそうでしたが、「もういい商品があればいいのに」「もっとこうすればいいのに」…」
M: 貴重なお話、ありがとうございます。

中央・ジェクスが独自に新しく開発した、装着感を感じさせない“ステルスゼリー”を搭載したコンドーム「ZONE」。



発行: MASH大阪
〒530-0027 大阪市北区堂山町11-2 堂山よしビル4F
☎ & 06-6361-9300
http://www.dista.osaka

この資料は大阪市のMSM向け
HIV予防啓発広報紙作成事業で制作されました。

夏号の紙面VIEW

- 2面 時事ネタ WATCH
- 4面 男朋友
- 6面 知られざる偉人伝
- 7面 海外男街通信「シドニー」

こちらのHIV検査場はすべて無料・匿名です 大阪府版(2019年5月24日現在)

[大阪市]

北区保健福祉センター 大阪市北区扇町2-1-27 ☎06-6313-9882	月・金曜日/9時30分~11時 水曜日/14時~15時30分 第5金曜日/18時~20時(先着100名)
中央区保健福祉センター 大阪市中央区久太郎町1-2-27 ☎06-6267-9882	火・水・木/9時30分~11時 第1金曜日★(HIVのみ)/14時~15時
淀川区保健福祉センター 大阪市淀川区十三東2-3-3 ☎06-6308-9882	月曜日/14時~15時30分 火曜日/9時30分~11時
chotCAST 大阪検査相談・啓発・支援センター 大阪市中央区東心斎橋1-7-30 21心斎橋ビル4階 火・木・土曜日 ☎06-4708-5035 日曜日 ☎06-4708-5339 ※いずれも検査実施時間帯のみ。	火・木曜日/18時~20時(先着50名) HIV・梅毒・B型肝炎 土・日曜日★/14時~15時30分(先着50名) HIV・梅毒・B型肝炎 ※土曜日は12時40分に整理券を配布。 日曜日のみ事前予約制→ (スマホ)http://www.npo-jhc.com/namba-kensa/ (フューチャーホン) http://www.npo-jhc.com/namba-kensa/m

[堺市]

堺保健センター 堺市堺区甲斐町東3-2-6(保健センター内) ☎072-238-0123	第2木曜日/9時~11時
中保健センター 堺市中区深井沢町2470-7(中区役所内) ☎072-270-8100	第3月曜日/9時~11時
東保健センター 堺市東区日置荘原寺町195-1(東区役所内) ☎072-287-8120	第4火曜日/9時~11時
西保健センター 堺市西区鳳南町4-444-1(鳳保健文化センター内) ☎072-271-2012	第1火曜日/9時~11時
南保健センター 堺市南区桃山台1-1-1(南区役所内) ☎072-293-1222	第3水曜日/9時~11時
北保健センター 堺市北区新金岡町5-1-4(北区役所内) ☎072-258-6600	第2火曜日/9時~11時
ちぬが丘保健センター 堺市堺区協和町3-128-4 ☎072-241-6484	第1水曜日/13時30分~15時30分
美原保健センター 堺市美原区黒山782-11 ☎072-362-8681	第3木曜日/13時30分~15時30分
堺市保健所(夜間検査) 堺市堺区田出井町2-1サンスクエア堺B棟地下1階 第5会議室 ☎072-222-9933	夜間検査/5・7・9月 第3木曜日 11・1・3月 第3水曜日 HIV・梅毒 18時30分~20時(先着20名)
堺市保健所(平日即日検査)★ 堺市堺区甲斐町東3-2-6(保健センター内) ☎072-222-9933	偶数月・第4木曜日/10時~11時(先着20名) (※10月のみ第3木曜日)

さかいサンサンサイト★ 堺市堺区田出井町2-1サンスクエア堺B棟地下1階 第5会議室 ☎072-222-9933	第1土曜日/10時30分~12時(先着20名) (※4・5月実施なし)
--	--

[東大阪市]

東保健センター 東大阪市南四条町1-1 ☎072-982-2603	第3金曜日/9時30分~11時
中保健センター 東大阪市岩田町4-3-22-300 ☎072-965-6411	第2・4水曜日/9時30分~11時
西保健センター 東大阪市高井田元町2-8-27 ☎06-6788-0085	第2・4月曜日/9時30分~11時

エイズの知識を深め、HIV検査に行ってみませんか？以下の検査施設では、無料・匿名でHIV検査を受ける事ができます。検査日時については各保健所へ直接ご確認ください。
*道順等の詳細についても、各保健所等へ直接お問い合わせください。

マークの説明
● HIV検査と同時にクラミジア及び梅毒の検査も無料で出来る施設です。
★ 即日検査できる施設です。* 通常の検査は一週間、即日検査はその日のうちに結果がわかります。

[高槻市]	高槻市保健所 高槻市城東町5-7 ☎072-661-9332	毎週金曜日/9時30分~10時30分
[豊中市]	豊中市保健所★ 豊中市中塚塚4-11-1 ☎06-6152-7316	第1火曜日・第3木曜日/13時~14時 HIV・梅毒
[枚方市]	枚方市保健所 枚方市大垣内町2-2-2 ☎072-807-7625	毎週火曜日/10時~11時30分
[八尾市]	八尾市保健所 八尾市清水町1-2-5 ☎072-994-6644(感染症担当)	第2・4木曜日/9時30分~10時30分
[寝屋川市]	寝屋川市保健所 寝屋川市八坂町28-3 ☎072-829-7773	第1・3水曜日/9時30分~10時30分
[大阪府]	池田保健所 池田市満寿美町3-19 ☎072-751-2990	第1・2火曜日/13時30分~14時30分
吹田保健所 吹田市出口町19-3 ☎06-6339-2225	第2・3・4金曜日/9時30分~10時30分	
守口保健所 守口市京阪本通2-5-5(守口市会館) ☎06-6993-3133	第2・4月曜日/10時~11時	
富田林保健所 富田林市寿町3-1-35 ☎0721-23-2683	第1・3水曜日/13時30分~14時30分	
和泉保健所 和泉市府中町6-12-3 ☎0725-41-1342	第2・4水曜日/9時30分~11時	
岸和田保健所 岸和田市野田町3-13-1 ☎072-422-6077	第1・3火曜日/13時30分~14時30分	
茨木保健所★ 茨木市大住町8-11 ☎072-624-4668	第1・2・4木曜日/13時~14時 HIV・梅毒	
四條畷保健所★ 四條畷市江瀬美町1-16 ☎072-878-1021	第1・3月曜日/9時30分~10時30分 HIV・梅毒	
藤井寺保健所★ 藤井寺市藤井寺1-8-36 ☎072-955-4181	毎週水曜日/9時30分~10時30分 (※第5週は実施なし) HIV・梅毒	
泉佐野保健所★ 泉佐野市上瓦屋583-1 ☎072-462-7703	第1・3月曜日/13時~14時 HIV・梅毒	

6月1日~7日はHIV検査普及週間です!! HIVには予防・早期発見・早期治療が有効です。

エイズ、性感染症について、気軽にご相談ください!

HIV陽性とわかった時、またエイズや性感染症について相談したり、情報が欲しい時、大阪には相談できるサービスや支援があります。気軽にお問い合わせください。

HIV検査や性感染症などに不安がある方
コミュニティセンター デイスタ
community center dista
性感染症について知りたい、相談や心配事がある、そんな方はご相談ください。お話を聞き、一緒に考えるお手伝いをします。電話相談と対面相談を行っています。相談員にはゲイの人もいて安心です。
MAP
住所: 大阪市北区堂山町11-2 堂山よしビル4F
☎06-6361-9300
水曜~日曜/17:00~22:00(月・火曜 休館)
http://www.dista.osaka/

HIV陽性とわかって間もない方
ひよっこクラブ
HIV陽性とわかって間もない人のためのグループミーティング
http://www.hiyokkoclub.com/

HIV陽性のゲイ・バイセクシュアル男性
Cafe・Bar an opportunity
~ただのきっかけ~
HIV陽性のゲイ・バイセクシュアル男性がふらっと立ち寄れる場所。各町丁目駅から徒歩3分のところにあるお店で、毎月第二日曜日17時~8時に開催しています。
注: 月曜日が祝日の場合には第三日曜日
詳細はこちら http://www.60.atwiki.jp/anopportunity/

エイズに関する様々な相談をしたい方
エイズ予防財団
エイズに関するご相談を電話で受け付けています。お気軽にご連絡ください。
☎0120-177-812 (無料)
※携帯電話からは、03-5259-1815まで(有料)
月曜~金曜/10:00~13:00、14:00~17:00(祝日は除く)

[南界堂通信第27号 編集後記]

●この号が出る頃には「平成」から「令和」に…。3時代を股にかけてことになるんだと思うと、なんだか一気に老けてしまった気分にもなります。時代は変わっても南界堂チームは突っ走っていきたいと思います。(伴仲)
●原稿作成では音声入力を併用しています。AndroidのスマホとPCで同じGoogleドキュメントを開きスマホに喋るとPCに文字が出ていきます。キーボードよりも思考が途切れない感じが良いです。(泰平)
●前号で紹介した「結婚の自由をすべての人に」裁判が始まりました。(弁護士として)頑張ります。(大畑)
●最近カレーがマイブームで、3日に2日はつくつてます。インドカレーです。慣れれば作り方は簡単だし、いろんな組み合わせができるし、いこうとなし!唯一の不満は、肝心のお味がイマイチなこと(汗)。誰か秘訣の伝授をば!!(哲)



トランスジェンダーと女風呂？

「女湯に男性器のある人を入れないのは差別」

今回は、(本誌の読者層とは少し別かも知れませんが) 関連する話題です。

お茶の水女子大等が、トランスジェンダー女性(女性として生活する性別越境者)の入学を認める方針を発表しました。

他方、それに反対する自称「フェミニスト」の動きもあ

るようです。

そんな中、「みのもんたのよるパス」で、一月五日、LGBTの法案の討論番組がありました。同性婚から同性同一性障害特例法の手術要件に話題が移った際、元参議院議員で(ゲイの)松浦大悟さんが野党のLGBT差別解消法案とトランスジェンダーの入学を認める発言をしました。

https://www.youtube.com/watch?v=aGNQwXLLPw

この松浦さんの「女湯に男性器が付いている女性だという人を入れないのは差別だ」ということになる訳ですよ」という発言は波紋を呼びました。

「遠藤まめたさん」「トランスを知ってほしい」

まず、トランスジェンダーの遠藤まめたさんが、一月九日、批判を投稿しました(松浦大悟さんの「女湯に男性器のある人を入れないのは差別」論への疑問:野党批判のためにトランスジェンダーへの恐怖を煽るのか?)

遠藤さんの松浦さんへの批判の論点の第一は、野党の法案批判のために「女湯にトランスジェンダーを入れないと差別」を持ち出しているのではないのか、という点。

第二は、トランスジェンダーの実情を知らずに議論しないでほしいという点で、「男性器のあるトランスジェンダーが女湯に入ってくる。それを拒むと差別になる」という議論は、あたかもトランスジェンダーたちから(ある

いはLGBTの運動サイドから)そのような法制化の要望の声が上がっているかのよう誤解を与えています。実際にはそのような主張を私は耳にしたことがありません。

ほとんどのトランスジェンダーは薄氷を踏む思いで自分たちが他者からどのような性別で見られているのかを気にし、周囲に気をつかい、ときには自分自身の外見を憎んだりして過ごしています。」と述べています。

「同じゲイからも批判が」

松浦発言への批判は、同じゲイの中からも起こります。

男性同性愛史の研究者の前川直哉さんは、「トランスジェンダーとともに」あるために、男性がなすべきこと」で、次のように語ります。

「私にとって許せないのは、自分がゲイ男性だと公言する元参議院議員の松浦大悟氏が、トランス女性の更衣室等利用に恐怖を感じるシス女性の声を悪用し、トランスジェンダーへの排除や差別を煽るような発言をしているこ

とです。:何より私が憤ったのは、松浦氏が「トランス女性」と「トランス女性を排除しようとするフェミニスト」という二項対立を仮構し分離主義を煽りつつ、しかも自らの姿を消す(どちらに批判が来ても自分に火の粉が及ばないようにする)という手法をとっていることです。」

前川さんは、続けて、あらゆる性暴力を許さない社会を作るのは、男性(ゲイも含む)にこそ課せられた責務だと提起します(この前川さんの論者について、DQのブ・ド・ラ・マドレーヌさんは「朝のようだ」と評していました。)

また、社会学者の石田仁さんも、「人々のトランスジェンダー嫌悪が少なくなれば、ジェンダー平等感覚の形成は進む」の中で、松浦発言は「あたかもフェミニストの総意を仮託されたかのような発言」であるが「フェミニスト(それは本来不可分であるはずの)差別の魔絶との間にくさびを打ち、ふたつを分断させようとして」いると指摘しています。

「お風呂の話題」

LGBTの可視化(そして法制化)が進む中で、様々な議論が出て来ている訳ですが、特にお風呂の話題は狙われやすい所ですね。

個人的には、トランスジェンダーの畑野とまさんが、松浦発言に「他人事ではないのに」とツイッターで評している、成る程と思いました。ゲイはトランスと違い外見からの「お風呂問題」はなくても、同性に対する欲望があるのですから(ドキッ)、「他人事ではない」筈です。

なので、少なくとも、煽るような議論は避けたいものだと思うされました。

それに対して、以下の声明が出ています。「声明」トランス女性に対する差別と排除に反対するフェミニストおよびジェンダー/セクシュアリティ研究者の声明 https://jp.surveymonkey.com/r/fgsig 有効署名数は、二十〇〇名超の模様。



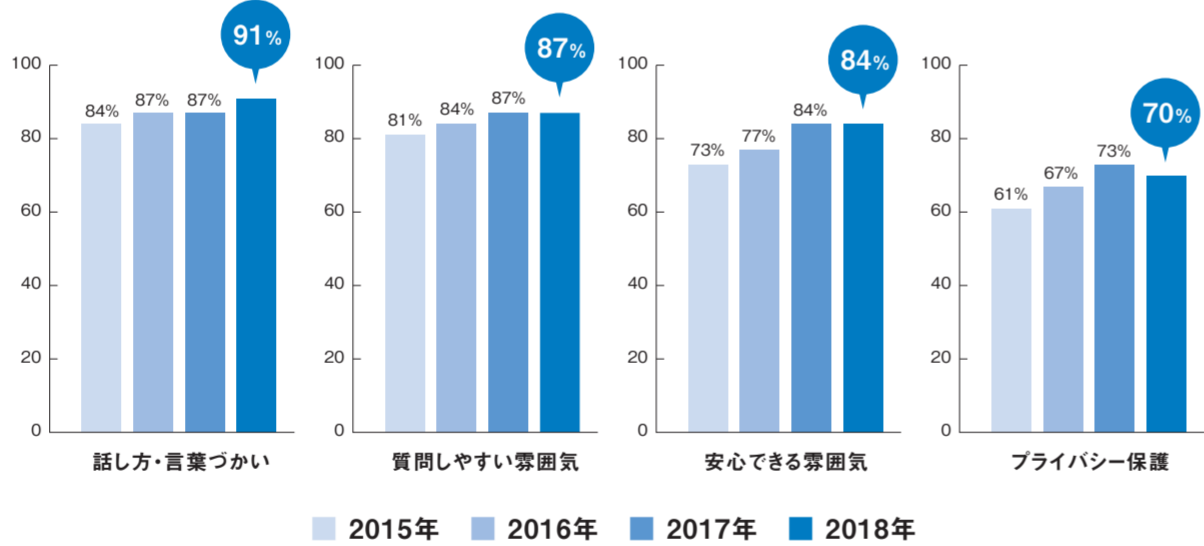
dista. ピタッとちえつくん! HIV & 梅毒検査

「コミュニティセンター dista」で二〇一四年一月から開催してきた「dista HIV & 梅毒検査」も今年三月でなんと四年、二十二回目になりました。今年から大阪市の予算で事業化されるようになり、累計で約七〇〇人の利用となりました。これからも継続すべく頑張りたいと思っています。この記事では、これまでどんな人が利用してきたか、この検査会でどんなことを感じたか、これから利用しようかなと思う人に向けて、紹介できればと思います。

この検査会では指紋認証で前回の場所、いつ検査を受けたかわかる仕組みになっています。「前回いつ検査を利用したか」わかる仕組みは自分の健康を考えていく上で大切だと考えて、この仕組みを採用しているわけですが、プライバシーはもちろん守られます。そのことが伝わってきたのか「プライバシー保護」についても最初は六割程度の満足度も七割を超えるようになってきました。

これからもみなさんの期待に応えられるように続けていきたいと思っています。二〇一九年度も五月から定期的に開催する予定です。ボランティアスタッフも保健師さんもいつでも、みなさんのお話を聞けるように準備を整えてお待ちしております。

検査会の満足度「とても満足」の割合



Check! 2019年度の検査スケジュール

	採血	結果
第1回	5月26日(日) 17:00~20:00	6月2日(日) 17:00~20:00
第2回	7月13日(土) 17:00~20:00	7月20日(土) 17:00~20:00
第3回	9月22日(日) 17:00~20:00	9月29日(日) 17:00~20:00
第4回	11月16日(土) 17:00~20:00	11月23日(土) 17:00~20:00
第5回	1月18日(土) 17:00~20:00	1月25日(土) 17:00~20:00
第6回	3月13日(金) 17:00~20:00	3月20日(金) 17:00~20:00
会場	コミュニティセンターdista	TKP大阪梅田駅前ビジネスセンター



男 for you 朋友

広告代理店「株式会社 日宣」の後藤峻介さんにインタビュー 映画『サタデーナイト・チャーチー 夢を歌う場所』の 関西宣伝を担当して

去る二月十一日、distaで特別試写会を行った「サタデーナイト・チャーチー」の実現にこぎつけた宣伝担当の後藤峻介さんにお話をうかがいました――

MASH大阪(以下M)：「サタデーナイト・チャーチー」という映画に出会われたのは、
後藤：関西に支社を置かない配給会社さんの多くは、宣伝機能がある広告代理店や宣伝会社に、宣伝業務を委託するのですが、キノフィルムズさんもその配給の二つで、弊社ではキノフィルムズさんのほとんどの作品の関西宣伝を担当させて頂いております。そのなかでこの映画の宣伝を担当することになりました。

M：なるほど、後藤さんが惚れ込んで、というわけではない？
後藤：正直、他作品との兼ね合いの中で担当する事になったんですけれど、いろんな人に相談して、LGBTコミュニティの人たちと協働すれば、SNSなどで情報が拡散していくだろうし、コミュニティを巻き込んだ広報活動をやってみようかと。
M：distaで試写会をやってみようと思ったのはなぜ？

後藤：いろいろな調べているうちにdistaに出会い、「あ、ここは映画に出てくるサタデーナイト・チャーチーと一脈通じているところかも、と思った。性的少数者に居場所を提供しているところなのかな。」
M：なるほど。試写会をやってみて、いかがでした？
後藤：これまで協力していただけたとは思っていませんでした。チェーン展開もしているあるお店にポスターを貼らせてもらえないかご協力をお願いしたら、「性的少数者を全面的に応援しているって思われたら、まだ会社としての方針が…」とやんわりお断りされたこともあったので。

M：ポスターを貼ることが「全面的に応援する」ことになっちゃった？
後藤：そうですね。そんなこともあったので、MASHさん
のアウトリーチに参加させてもらい、堂山とミナミのバーを回れたのはとてもうれしかった。うれしかっただけでなく、お店を一軒一軒回ってチラシを配るといって、広報活動の原点を見させていたという意味で勉強にもなりました。
M：アウトリーチは広報活動の原点だ？
後藤：そうですね。弊社でもポスターやチラシを映画館近くの飲食店などに設置して頂いているのですが、最初の設置確認が取れば後は定期的な郵送という形になってしまっており、なかなかお店の方と直接お話しする機会を持っていないのが現状です。でもやはり直接自分の手で持って行って、その作品の良さを直接お伝えする。理解・信頼を得たうえで宣伝にご協力頂くというの是非常に大事な事だと、改めて感じました。

M：なるほど。LGBTの映画を担当してみても、いかがでしたか？
後藤：そうですね、LGBT特有の問題というのもあったけれど、思春期の青少年のアイデンティティの確立と自立への模索という普遍的なテーマがあり、そうしたテーマがポジティブなカタチで展開されていて、とてもいい映画に仕上がっている。明日に向けて背中を押してくれるような……
M：その通りですね。 게이関連の映画は当分これでおしまい？
後藤：いえ、数年前に母親の後を追うように自死を選んだファッションデザイナー、アレキサンダー・マックイーンの下キュメンタリーフィルムがあります。また協力をお願いしたいところですよ。
M：ぜひ協力させてください。今日はどうもありがとうございました。

MASHからのコメント：男性女性問わずモテる事は嬉しいと語る後藤さん。以前ある洋画のお歴々三人が来日したテンドでしたが、その中の一人がゲイの方で、一緒にアメリカに帰らないかと誘われたという逸話も披露してくれました。(笑)



男色エンタメ紀行

シリアスなテーマを、現実と空想の世界を織り交ぜながらミュージカルタッチに描いたメッセージ性の強い映画

映画『サタデーナイト・チャーチー 夢を歌う場所』

一般公開に先駆けコミュニティセンターdistaで特別試写会が開催されました。当日映画を鑑賞された三名の方に印象を鼎談風に語っていただきました。

L：「居場所」がテーマの映画だっと思った。誰でも行ける場所。主人公のユリシーズにとっての居場所はサタデーナイト・チャーチだった。そこでユリシーズは自分のロールモデルに出会い、正直に自分のことを語る事ができた。そして家出して居場所がなくなったりと、ユリシーズが訪れたのがサタデーナイト・チャーチ。困ったとき「あそこにいけばなんとかなる」という場所だったわけね。

B：ニューヨークには身寄りがないセクシュアルマイノリティに居場所を提供している教会が現実にあって、この映画もそこからインスピレーションを受けてつくられたらしい。だからこそ「居場所」が大切だというメッセージが強く発信されているのではないかな。

O：だからなのか、主人公のユリシーズがゲイなのかトランスなのか曖昧に描かれていると感じたけれど、ゲイにもトランスにもあてはまる物語になっているという点もなんだね？



B：この国にだって居場所を持たずやるせない思いを抱いている人はいっぱいいると思う。「駆け込み寺」なんていう言葉はあるけれど、トランスやゲイの若者がお寺に駆け込むって話は聞かないしなあ……

O：アタクシの印象は「ニューヨークの映画」ね。楽屋裏の話になっちゃうけど、トランスやゲイを演じられて、かつミュージカル仕立てになっているから歌って踊れる、そんな役者がいっぱいいる街なのねえ、ってあ



O：「ユリシーズ」っていう名前からして「遍歴を重ねていく人」っていうイメージだしね(笑)。

O：「ユリシーズ」っていう名前からして「遍歴を重ねていく人」っていうイメージだしね(笑)。

第10回!

南界堂

中高年世代の語り合ひ会

茶会

●加齢は不安だらけ？
古来、容色の衰えや、孤独の寂しさが書かれた詩や随筆が見られるように、加齢の不安は永遠のテーマででしょうか。体力、集中力の低下。新しい友達を求めないといった人間関係の変化。仕事の役割から離れるなど。また、若いゲイ男性にとって加齢は不安だらけでは。若さを保とうとしている方も多いようで、古谷野さんが出会ってきた中では、年齢を聞いてびびくりしたことがしばしばあったそうです。時々「長生きなんてしたくないし…」と聞かれたことも。

●加齢は不安だらけ？
古来、容色の衰えや、孤独の寂しさが書かれた詩や随筆が見られるように、加齢の不安は永遠のテーマででしょうか。体力、集中力の低下。新しい友達を求めないといった人間関係の変化。仕事の役割から離れるなど。また、若いゲイ男性にとって加齢は不安だらけでは。若さを保とうとしている方も多いようで、古谷野さんが出会ってきた中では、年齢を聞いてびびくりしたことがしばしばあったそうです。時々「長生きなんてしたくないし…」と聞かれたことも。

●加齢は不安だらけ？
古来、容色の衰えや、孤独の寂しさが書かれた詩や随筆が見られるように、加齢の不安は永遠のテーマででしょうか。体力、集中力の低下。新しい友達を求めないといった人間関係の変化。仕事の役割から離れるなど。また、若いゲイ男性にとって加齢は不安だらけでは。若さを保とうとしている方も多いようで、古谷野さんが出会ってきた中では、年齢を聞いてびびくりしたことがしばしばあったそうです。時々「長生きなんてしたくないし…」と聞かれたことも。

●加齢は不安だらけ？
古来、容色の衰えや、孤独の寂しさが書かれた詩や随筆が見られるように、加齢の不安は永遠のテーマででしょうか。体力、集中力の低下。新しい友達を求めないといった人間関係の変化。仕事の役割から離れるなど。また、若いゲイ男性にとって加齢は不安だらけでは。若さを保とうとしている方も多いようで、古谷野さんが出会ってきた中では、年齢を聞いてびびくりしたことがしばしばあったそうです。時々「長生きなんてしたくないし…」と聞かれたことも。

●性欲とどう付き合うか
参加者に加齢による変化をたずねたところ、性欲の話がいくつか聞かれました。タイプが変わったなど。ゲイのおじいちゃん達と居酒屋に行くとき最後はセックスの話になってしまふ、七十ぐらいになったら性欲が減るのかと思っていいたら全然減っていないようだという声。また年配の方からは七十になって回数減るけれども性欲は衰えない。愛欲があるから動く意欲がわくという方もいらっしゃいました。加齢によるのか射精しにくくなる、若い子相手だと説明がいくこともあって同年代の方が気楽という方も。加齢と折り合いをつけて性欲と付き合っているように感じました。

●加齢は不安だらけ？
古来、容色の衰えや、孤独の寂しさが書かれた詩や随筆が見られるように、加齢の不安は永遠のテーマででしょうか。体力、集中力の低下。新しい友達を求めないといった人間関係の変化。仕事の役割から離れるなど。また、若いゲイ男性にとって加齢は不安だらけでは。若さを保とうとしている方も多いようで、古谷野さんが出会ってきた中では、年齢を聞いてびびくりしたことがしばしばあったそうです。時々「長生きなんてしたくないし…」と聞かれたことも。

●加齢は不安だらけ？
古来、容色の衰えや、孤独の寂しさが書かれた詩や随筆が見られるように、加齢の不安は永遠のテーマででしょうか。体力、集中力の低下。新しい友達を求めないといった人間関係の変化。仕事の役割から離れるなど。また、若いゲイ男性にとって加齢は不安だらけでは。若さを保とうとしている方も多いようで、古谷野さんが出会ってきた中では、年齢を聞いてびびくりしたことがしばしばあったそうです。時々「長生きなんてしたくないし…」と聞かれたことも。

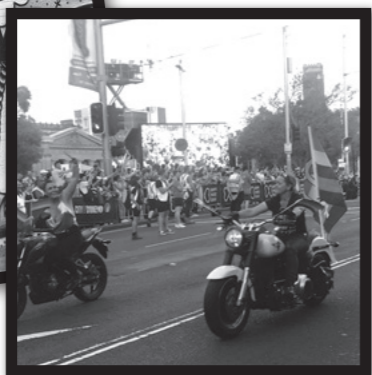
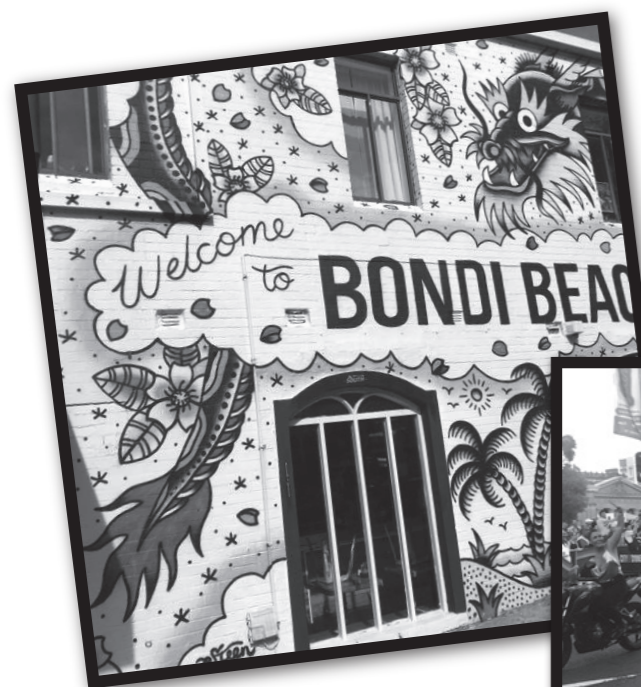
●加齢は不安だらけ？
古来、容色の衰えや、孤独の寂しさが書かれた詩や随筆が見られるように、加齢の不安は永遠のテーマででしょうか。体力、集中力の低下。新しい友達を求めないといった人間関係の変化。仕事の役割から離れるなど。また、若いゲイ男性にとって加齢は不安だらけでは。若さを保とうとしている方も多いようで、古谷野さんが出会ってきた中では、年齢を聞いてびびくりしたことがしばしばあったそうです。時々「長生きなんてしたくないし…」と聞かれたことも。

✈ 海外男街通信

Sydney

Gay and Lesbian Mardi Gras Parade

シドニー ゲイ & レズビアン マルディグラ パレード



「マルディグラ」っていう言葉聞いたことはありませんか？オーストラリアのシドニーで開催されているLGBTQのイベントです。時期は二月の中旬から三月の初旬まで行われている大々的な行事です。期間中街中でアート、パティ、ショーを中心に様々なイベントが行われます。その中で一番大きなイベントがシドニーのゲイタウンであるオクスフォード・ストリートで行われるパレードです。今回はSydney Gay and Lesbian Mardi Gras パレードの内容と共に私が感じた事を紹介します。

パレードがかなり大規模であることはシドニーに住む知人に聞いていたので、午後三時にオクスフォード・ストリートに向かいました。着いた時にはこのゲイバーも満席で周囲はお祭り状態でした。夕方にはさらに集まり、歩道は人で満杯でした。現地の人はもちろんですが、中には台湾、インドネシア、シンガポールなどの外国人も見かけました。そして夜になり、ハーレーに乗ったグループが出てきてパレードの開幕。そこから約三〇〇団体のフロートが出てきました。民族衣装で現れたものもあれば、セクシーな衣装でダンスしてきたフロートも。個人的に驚いたのが、警察や海軍など政府の団体もフロートに参加している事でした。

この行事を通してシドニーのLGBTQコミュニティの団結力が驚きました。パレードでのパフォーマンスももちろんですが、パレードのために集まった一人一人が心の底から応援しているように思いました。パレード中、私自身に興味を持ってくれた現地の人達と仲を深めることができました。何よりもこのパレードを通して自身のアイデンティティが社会に受け入れられていると感じる事ができました。LGBTQ当事者以外にもストリート

「暗い灯影をさまよいながら女が囁らす口笛は、恋の終わりの東京ブルース」とあらわされる。呪詛が口笛に変わり、そうやって六十年代の女は呪詛するしかない女にケリをつける。七十年代になると女性のシンガーソングライターたちがはっきり「こんな女でいたくない」と歌いはじめるわけだけど、橋本先生の文章はこんな風に「女の戦後史」らしき展開を見せることだってある。

八十年代に出版された『蓮と刀』（河出文庫）では、ゲイ雑誌の文通欄に寄せられた文章の背後にある心理をフロイトの精神分析を援用しつつエゲツナイまでに分析し、返す刀でフロイト自身をもエゲツナイまでに批判する。最近出た『国家を考えてみよう』（ちくまフリーマー新書）では、古典文学の該博な知識を動員して日本のナショナリズムの流れを古代〜中世〜近世〜近代の移り変わるのなかに見事に描き出す。

ナショナリズムに取り組んだ学者さんとはくさんいるけど、江戸と明治の間に横たわる壁を軽々と飛び越えて論じる手つきは橋本先生ならではの。

ノンケのエイおじさんたちが何と向き合ってたかからこそ「桃尻娘」や「蓮と刀」や「性のタブーのない日本」（集英社新書）が書けたんだらうし、紫式部や清少納言を女子高生言葉にうつしかえることができたんだらうし、まったく独自の日本人論を展開することもできた。

まだ読んではいないけどワクワクする本をたくさんたくさん残して逝った橋本先生には、感謝しかありません。

文 ● 鬼塚哲郎
あと数年で定年を迎える大学教員。スペイン語圏の文学、芸能を偏愛。『桃尻娘』シリーズはリアルタイムで読みましたが、あんなに次巻が待ち遠しいと思ったことはありませんでした。ゲイの男の子とノンケの親友との微妙な関係がリアルでリアルで…(笑)。因みに、『星の流れに』はyoutubeで聞ける藤圭子がオスス。西田佐知子の『東京ブルース』を続けて聞くと、戦後の時の流れが走馬灯のように蘇る向きもあるのではないのでしょうか。

マルディグラ以外にもビーチ、街、自然が多くあります。新しい自分探しにシドニーのマルディグラに参加してみるのはいかがでしょうか？

時間と他のコミュニティを巻き込む必要があると思います。

マルディグラ以外にもビーチ、街、自然が多くあります。新しい自分探しにシドニーのマルディグラに参加してみるのはいかがでしょうか？

文 ● とっくん
23歳、関西の大学卒業。大学では「マッチングアプリとゲイコミュニティ」について研究。学生時代アメリカ留学を経験し、多様性について学ぶ。趣味はNetflixで「ルポールのドラッグレース」を見ながら筋トレすることです。

どんな権威にも寄りかからず — 追悼、橋本治 —

知られざる 偉人伝



橋本 治
(作家 / 1948 - 2019)

いやあ、びっくり仰天しました。一月の末、新聞の社会面の片隅から「作家の橋本治さん死去。肺炎で」という記事が飛び込んできたときのことです。まだ七〇歳。筆者と三つしか違わない。突然の早すぎる訃報に驚き、狼狽したのは私だけではないでしょう。私にとっての橋本治は、小説『桃尻娘』の作者であり、膨大な数の、あらゆる分野にまたがるエッセイや評論の作者であり、『枕の草子』『源氏物語』『徒然草』『平家物語』な

らエッセイが展開されるのだけれど、何を軸に話が展開するのかまったく予測がつかない。昭和二十七年の『リンゴ追分』は美空ひばりを軸に展開すると見せかけ、次の瞬間、話は追分節の歴史に飛び、リンゴが渡来したのは明治になってからだって話になり、島崎藤村の『若菜集』からリンゴの詩「初恋」が引用され、最後はリンゴも梅も桜も桃もゼーンプ薔薇科なんだから、梅、桜、桃は実のイメージも花のイメージも定着しているのに新来のリンゴだけは花のイメージがない、だから戦後まもなく恋愛を夢見る青年たちは「リンゴの花ほころび：」（「カチューシャ」）って大声で歌って見知らぬ恋を見知らぬ花に託したのかも知れない。

六十四年の『東京ブルース』のころでは、この歌を戦後まもなく流行った『星の流れに』の姉妹編と位置付け、戦後のドサクサの只中で「町の灯影のさびしさよ、こんな女に誰がした」と歌うパンパンの呪詛が、六十年代になると

まだ読んではいないけどワクワクする本をたくさんたくさん残して逝った橋本先生には、感謝しかありません。

まだ読んではいないけどワクワクする本をたくさんたくさん残して逝った橋本先生には、感謝しかありません。